取扱説明書

insinkerator®
solutions for sinks

InSinkErator® ディスポーザ

モデル AC 110

はじめに
- 安全上のご注意 …… 2
- 使用上のご注意 …… 6
- 各部の名称 …… 8
- 投入物についてのご注意 …… 10

使い方
- 運転のしかた …… 11
  - ■手動給水タイプの場合 …… 11
  - ■自動給水タイプの場合 …… 15
- 運転時の報知音について …… 17
  - ■手動給水タイプ：水量センサー無しの場合 …… 17
  - ■手動給水タイプ：水量センサー付きの場合 …… 18
  - ■自動給水タイプの場合 …… 19
- 運転を強制的に終了させる …… 20

こんなときは
- 異物の取り出しかた …… 21
- かみ込み解除のしかた …… 22
- ディスポーザ本体内部のお手入れ …… 24
- フタスイッチのお手入れ …… 26
- 定期的な点検について …… 27
- 故障かな?！と思ったら …… 28
- 仕様 …… 31
- アフターサービスについて …… 32

本製品は、手動給水タイプと自動給水タイプがあります。それぞれ操作方法が異なりますので、操作の前に必ずご確認ください。

☞ 手動給水タイプ：水量センサー無しの場合 11 ～14, 17, 28 ページ

☞ 手動給水タイプ：水量センサー付きの場合 11 ～14, 18, 29 ページ

☞ 自動給水タイプの場合 15 ～16, 19, 30 ページ

Part No.74894 04/08

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表　示	意　味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容です。

下に示す表示は「取扱説明書」や製品に表示して、お客様が安全に正しく製品をお使いいただくためのものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

表　示	意　味
	行ってはいけない
	絶対に分解したり、修理、改造は行わない
	必ず実行する
	アース工事がされていることを確認する
	お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く
	水場で使用しない
	濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

故障したままでディスポーザを使いつづけないでください。

●次のようなときは、電源プラグを抜き、水栓を閉めて給水を止めてください。

⚠ 注意

- ●配管や本体から水漏れしている
- ●異音・異臭がしている
- ●製品が異常に熱い
- ●製品にひびや割れが入っている
- ●製品から煙がでている

●故障したまま使いつづけると、火災や感電・室内浸水の原因になります。

☞ アフターサービスについては 32 ページ

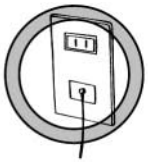
安全上のご注意

⚠ 警告

アース工事がされていることを確認する

※アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

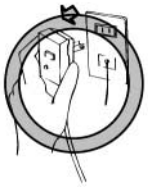
アース線接続



アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く

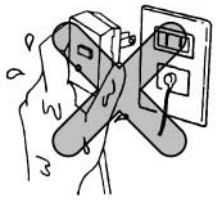
必ず守る



コードを引張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れ手禁止



感電の原因になります。

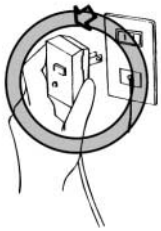
改造・分解・修理は行わない

分解禁止

火災、感電の原因になります。

お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く

プラグ抜き励行



感電の原因になります。

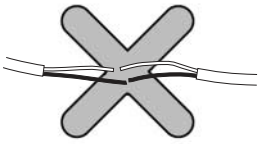
濡れた手で、ディスポーザ本体やコントローラには触らない

濡れ手禁止

感電の原因になります。

電源コードは途中で切断したり、接続して延長しない

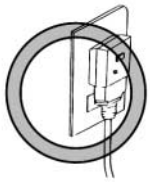
禁止



火災や感電の原因になります。

電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

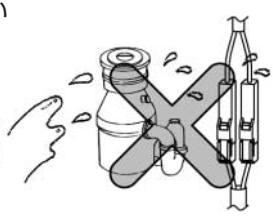
必ず守る



火災や感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ディスポーザ本体、コード類及びコネクタ類に水をかけたり、洗ったりしない

水場禁止

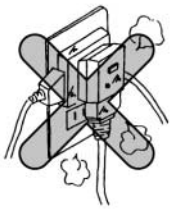


ショートや感電の原因になります。

交流 100V 定格 15A 以上のコンセント（専用）を単独で使用する

※たこ足配線は絶対にしないでください。

必ず守る



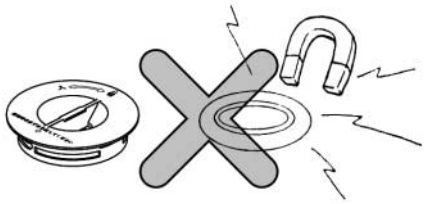
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意

キッチンマグネット等の磁石を使用した製品を投入口に近づけない

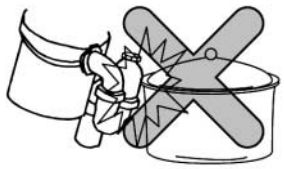
禁止



フタスイッチが投入口に収まっていないときに、ディスポーザが作動し、けがの原因になります。

ディスポーザ本体に力を加えない。また、無理に収納物を押し込まない

禁止



水漏れや排水不良の原因になります。

子供にディスポーザを操作させない

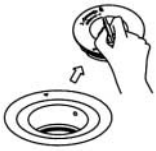
※お子さまが近くにいる場合は、特に注意して使用してください。

禁止

けがの原因になります。

ディスポーザが運転終了して回転が完全に停止するまで、フタスイッチを開けて粉砕室内に手などを入れない

禁止



けがの原因になります。

キャビネット内に収納したものがディスポーザ本体に当たらないようにする。特に、びん類や陶器類などの割れやすいものはディスポーザ本体の近くには置かない

必ず守る

割れてけがをしたり、異音や振動の原因になります。

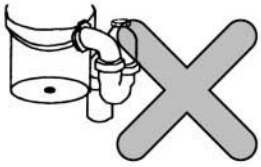
ディスポーザを運転した直後はディスポーザ本体にさわらない

禁止

やけどの原因になります。

ディスポーザの噛み込みを解除した後は、サービスレンチを取り除く

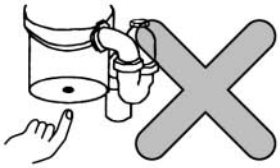
必ず守る



サービスレンチをつけたまま運転すると、けがの原因になります。

本体底面のサービスレンチを入れる穴にサービスレンチ以外のものを入れない

禁止



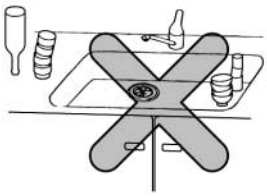
けがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意

シンクカウンターの上に不安定なものを置いたまま、ディスポーザを運転しない

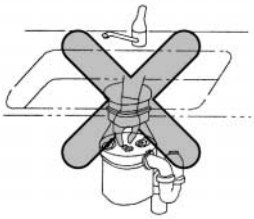
必ず守る



振動で倒れて破損したり、けがの原因になります。

ディスポーザの粉砕室内に手を入れるときは、厚手のゴム手袋などを必ず着用する

必ず守る



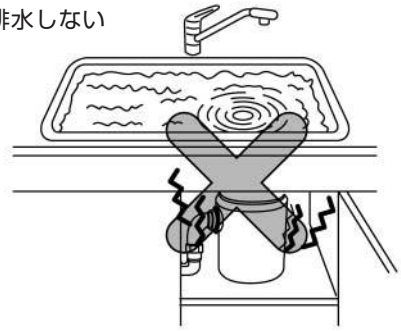
けがの原因になります。

ディスポーザの運転中、またはディスポーザの運転直前に、一度に大量の水を排水しない

※ディスポーザの運転は、粉砕室内の排水が完全に流れてから、行ってください。

禁止

シンクが大きく振動する原因になります。



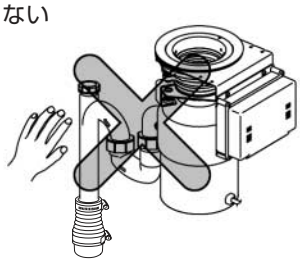
ディスポーザの運転が終了した後、「ピッピッ」と音が鳴ってから水を止める
（自動給水タイプは、自動で水が止まります）

必ず守る

水を止めるのが早いと、配管内にごみが残り
配管詰まりの原因になります。

トラップを分解しない

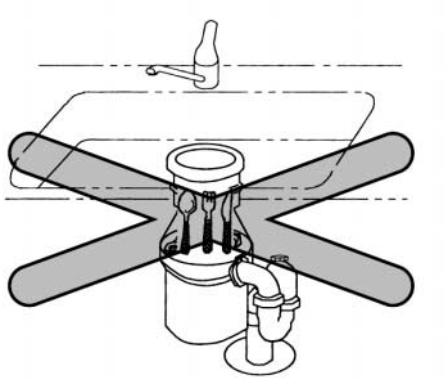
禁止



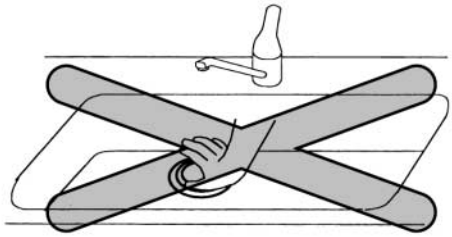
漏水の原因になります。

使用上のご注意

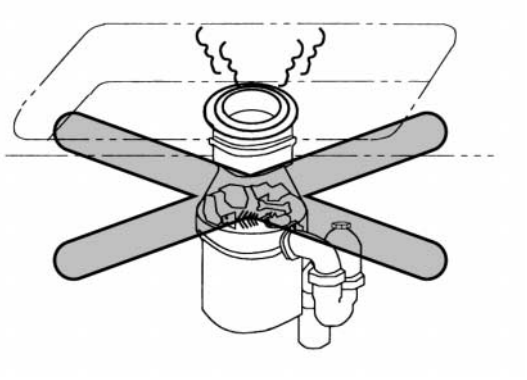
●生ごみ以外は粉砕しない
故障の原因になります。☞10ページ



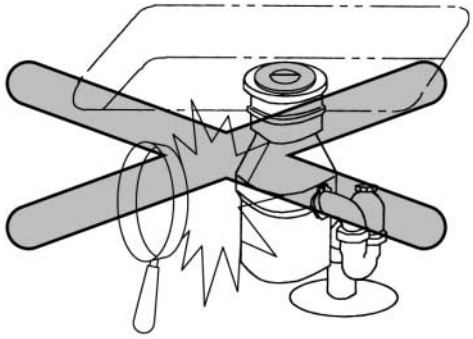
●大量の生ごみを無理に押し込まない
かみ込みや排水不良の原因になります。



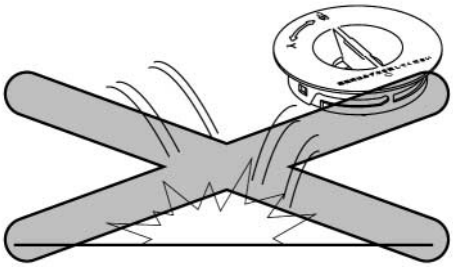
●ディスポーザに生ごみをためたまま長期間放置しない
悪臭の発生や排水不良の原因になります。



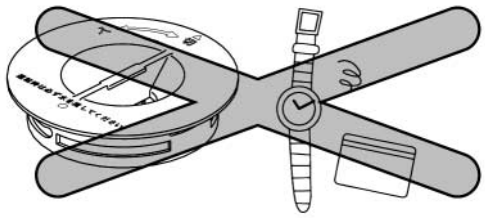
●ディスポーザ本体に、食器や調理器具などをぶつけない
故障の原因になります。



●フタスイッチを落とさない
フタスイッチが破損したり、故障の原因になります。



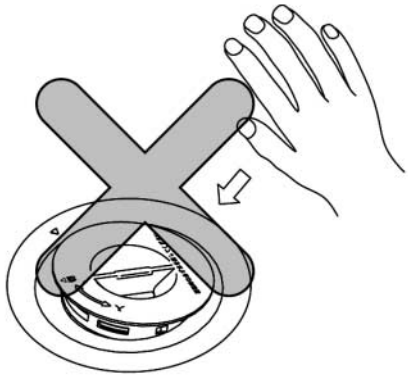
●磁気に弱いもの（磁気カードや時計など）をフタスイッチに近づけない
メモリが消えたり、故障の原因になります。（フタスイッチの内部には磁石が入っています）



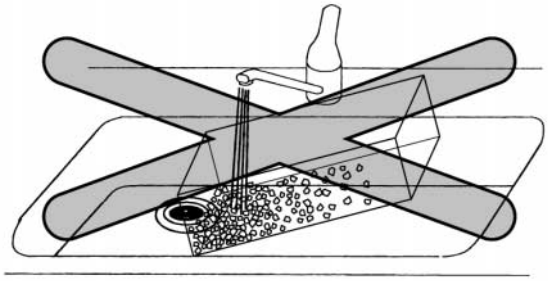
使用上のご注意

● 60℃以上のお湯を連続して流し続けないで下さい。排水管に変形や劣化が発生し、漏水の原因になります。

●フタスイッチを誤った位置にむりやり押し込まない
破損の原因になります。☞ 11 ページ



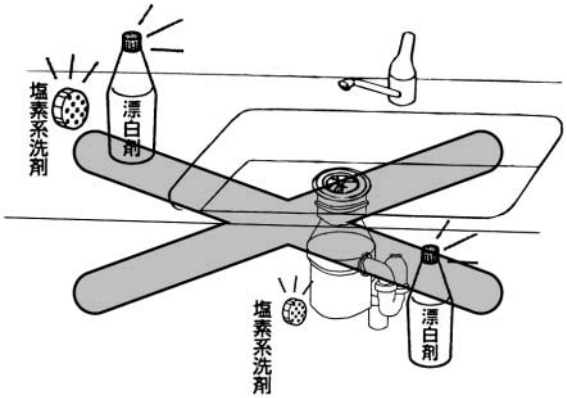
●生き物の水槽のお手入れをキッチンでしない
水槽の敷石等がかみ込んで故障の原因になります。



●固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤を使用しない
また、ディスポーザ周辺に保管しない

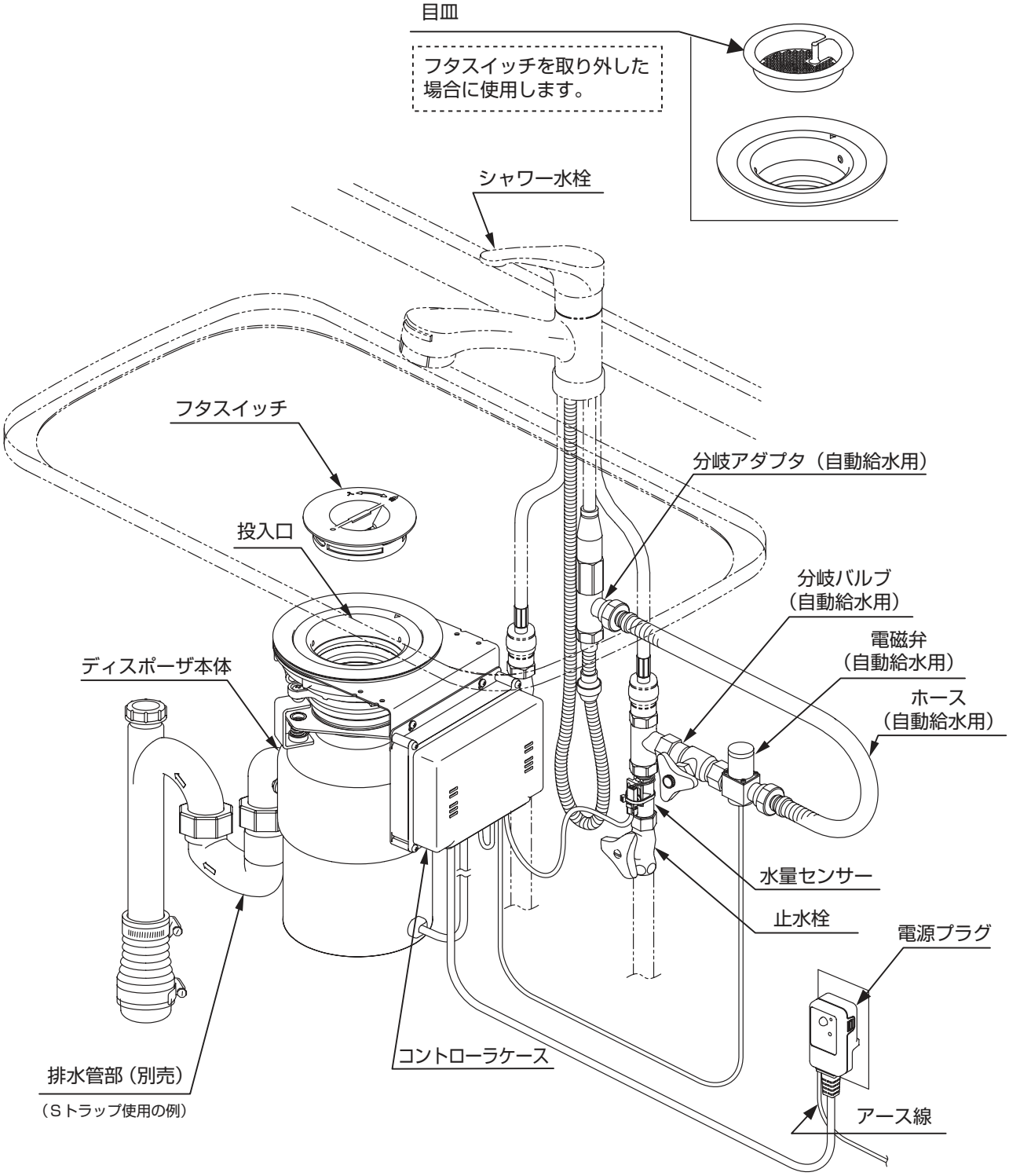
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化させ漏水の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

「塩素系ヌメリ取り剤」について
塩素系のヌメリ取り剤は水分に反応して塩素系のガスを発生します。このガスはヌメリ取りの効果がありますが、ステンレスなどの金属をさびさせたり、ゴムを劣化させたりします。



各部の名称

各部の名称


目皿
フタスイッチを取り外した
場合に使用します。
シャワー水栓
フタスイッチ
投入口
分岐アダプタ（自動給水用）
分岐バルブ
（自動給水用）
電磁弁
（自動給水用）
ホース
（自動給水用）
ディスポーザ本体
水量センサー
止水栓
電源プラグ
コントローラケース
排水管部（別売）
（Ｓトラップ使用の例）
アース線

各部の名称

ディスポーザの内部

フタスイッチ
ディスポーザの運転・停止を行います。

※内部に磁石が挿入されています。

ハンマー
生ごみを固定歯に押しつけ、すりつぶすようにして粉砕します。

※鋭利な刃物ではありません。

防震装置
振動を吸収して、騒音を低減します。

粉砕室
この中で生ごみを粉砕します。

〈粉砕部平面図〉

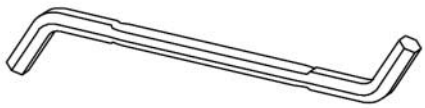
固定歯
生ごみを粉砕するための凹凸があります。

〈断面図〉

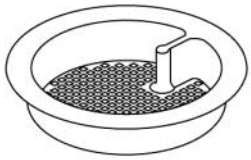
サービスレンチ差し込み穴
かみ込み時にサービスレンチを差し込みます。 22 ページ

付属品（お確かめください）

サービスレンチ
ディスポーザのかみ込み解除に使用します。

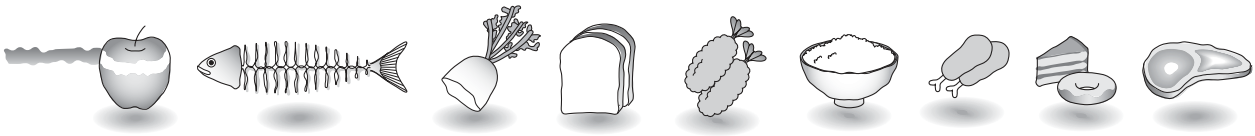


目皿
異物がディスポーザ内部へ落ちるのを防ぎます。



投入物についてのご注意

投入してもよいもの



●食品くず●

野菜くず、果物くず・御飯、魚肉・いわしなどの小魚の骨、手羽元などの鳥の骨・昆布などの海藻類、肉類、麺類、スープ、パン、菓子、揚げ物、残飯など

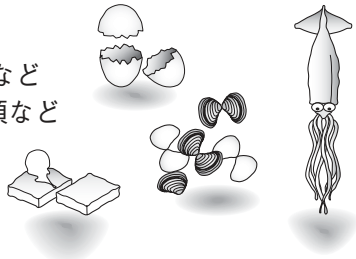
※ スイカの皮、メロンの皮、とうもろこしの芯、グレープフルーツの皮などの大きなごみ、厚みのあるごみは、数センチ程度に小さく切って投入すれば、問題なく粉砕できます。

※ 同じ種類のごみだけを投入するより、何種類かのごみを混ぜて投入した方が、粉砕が楽に行われます。

●同種類のごみだけで大量に投入する場合●

※ 少しずつ他のごみと混ぜて投入してください。（同種類のごみだけの大量投入は避けてください）

- 繊維質のもの ･････････････ 枝豆の皮など
- 流れにくいもの ･････････････ 卵の殻、しじみ・あさり等の貝殻など
- 粉砕に時間がかかるもの ････ 生魚の皮や鳥の生皮、イカ・タコ類など
- やわらかくねばりのあるもの ･･ ご飯、うどん、もちなど
- 重さが軽く粉砕しにくいもの ･･ たまねぎの皮、お茶の葉など



投入してはいけないもの

※ 故障・排水管のつまり・処理槽への影響があるもの

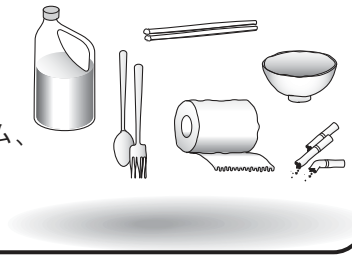
- とても固い骨・殻 ･･････牛・豚の大骨、サザエ・牡蠣・あわび等の大きな貝殻、大きなカニの殻など
- 特に硬い繊維質のもの ･･とうもろこしの皮、たけのこの皮など
- 大量の熱湯、大量の熱い食品など、高温の湯はディスポーザをいためますので冷ましてから投入してください。

絶対に投入してはいけないもの

食器洗い等に普通に使用される量の洗剤、鍋などに付着している程度の油は問題ありません

※ 食品くず以外のもの

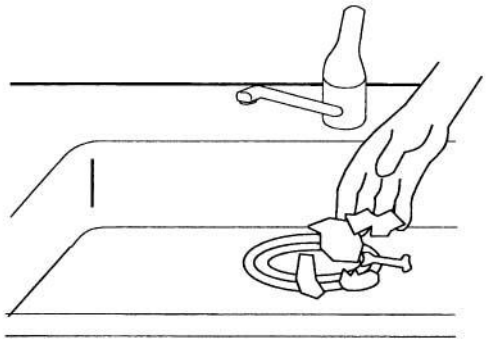
■ 油類･････････････････ 多量のサラダ油、大量のてんぷら油など
■ 薬品類･･････････････ 多量の洗剤、多量の薬品、溶剤（シンナー）など
■ 食品くず以外のもの･･･ 金属・プラスチック・ガラス・陶器・紙・木類、輪ゴム、ビニール袋、キッチンペーパー、タバコの吸い殻など



運転のしかた

■ 手動給水タイプの場合（手動で蛇口を開いて運転します）

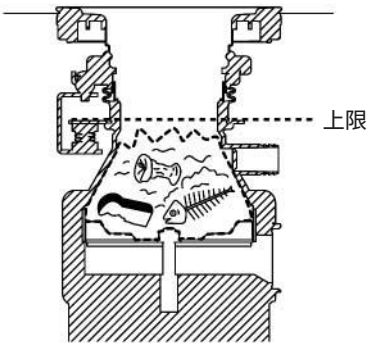
1 ディスポーザに生ごみを入れてください



●ディスポーザに投入してはいけないものがあります。投入物についてのご注意をよく読んでご使用ください。☞10ページ

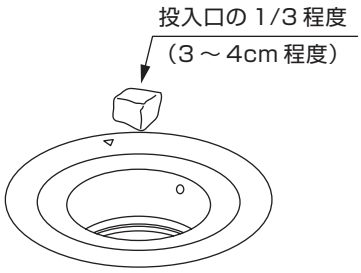
●同一ごみだけの投入は配管詰まりの原因になることがあります。何種類かのごみをまぜて粉砕するようにしてください。

投入量の目安



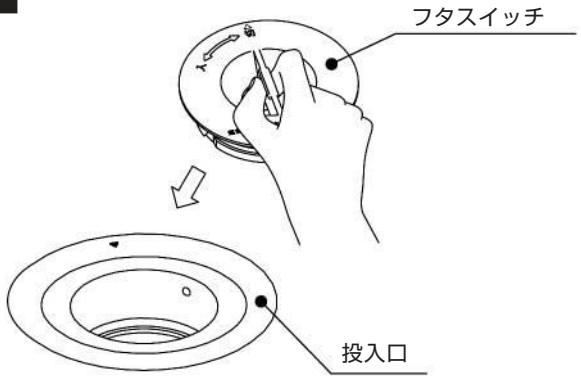
●図の上限を目安にして、生ごみを強く押し込まないでください。100から150グラム程度を少しずつ何度かに分けて処理されることをお薦めします。

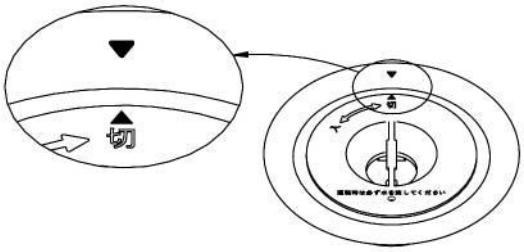
大きさの目安



●投入する生ごみの大きさは、投入口の1/3（3～4cm）程度を目安にしてください。

2 投入口にフタスイッチを挿入してください



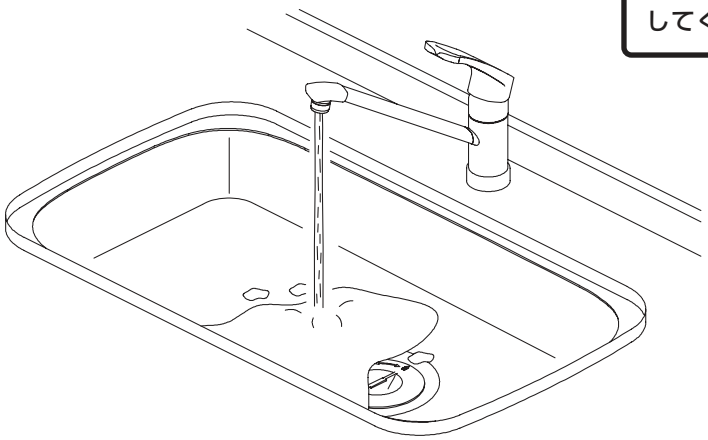


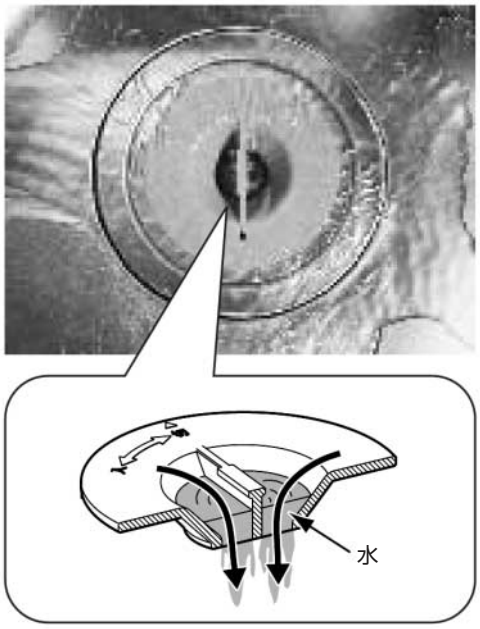
●投入口の▼マークとフタスイッチの▲マークを合わせて入れてください。

3 蛇口を開けて、水を流してください

⚠ 注意

必ずディスポーザを運転する前に、水を流してください。





●人差し指程度の太さ、または蛇口半開程度の開きで給水してください。

※毎分８リットル以上の給水量が必要です。フタスイッチ開口部の深さの半分以上に流水を満たすことが、給水量毎分８リットル以上の目安になります。

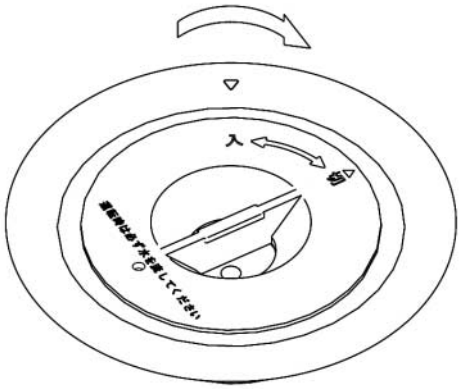
※給水量が少ないと、配管内に生ごみが残り、配管詰まりの原因になります。誤った使用により配管詰まりが発生した場合には、有料修理になります。

【水量センサー付き】

※水量センサー付きの場合は、水側の水量のみを検知します。このため、お湯ではなく水がでるように、給水レバーを右方向に向けて蛇口を開いてください。（給水レバーの方向は蛇口により異なる場合があります。）

運転のしかた

4 フタスイッチを右（時計まわり）にまわして、「入」にしてください



水量センサー無しの場合

●「入」にすると「ピッ」と音が鳴り、粉砕を開始します。

水量センサー付きの場合

●「入」にすると「ピッ」と音が鳴り、粉砕を開始します。

- 給水量が必要量（毎分８リットル）に満たないときは、「ピッピッピッ ...」と 10 秒間警告音が鳴り、運転を開始しません。
- 運転中に給水量が必要量（毎分８リットル）を下回ったときは、粉砕が停止し「ピッピッピッ ...」と 10 秒間警告音が鳴ります。

⚠ 注意

ディスポーザの回転が完全に停止するまで、ディスポーザの中に手を入れないこと。
けがの原因になります。

●警告音に対する処置

処置１：

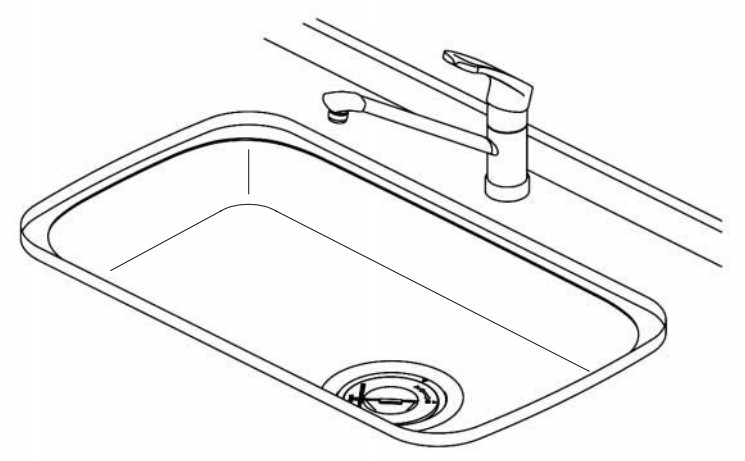
警告音が鳴り始めてから 10 秒以内（警告音が鳴っている間）に給水量を必要量にする。
→警告音が止まり、自動的に粉砕を開始します。

処置２：

警告音が鳴り始めてから 10 秒以上放置した（警告音は自動で 10 秒後に止まります）。
→①フタスイッチを左（反時計まわり）に回して、「切」にしてください。
②給水量を増やして、フタスイッチを「入」にし、運転を開始してください。

●ディスポーザは、運転・停止をくり返す断続運転を行います。
●ディスポーザの運転は、約 50 秒後に自動停止します。
運転を強制終了させる時は ☞ 20 ページ
●粉砕されにくいごみを繰り返し粉砕するときは、フタスイッチを左（反時計まわり）に回し、「切」にした後、再度運転してください。
●フタスイッチを取りはずす場合は、フタスイッチを左（反時計まわり）に回してからはずしてください。

5 「ピッピッ」と音が鳴ったら、蛇口を閉めて水を止めてください



水量センサー無しの場合

●約 50 秒間の運転が終了してから 10 秒後に「ピッピッ」と音が鳴りますので、蛇口を閉めて水を止めてください。

●「ピッピッ」と音が鳴る前に水を止めると、配管内に生ごみが残り、配管詰まりの原因になります。

水量センサー付きの場合

●約 50 秒間の運転が終了してから 10 秒後に「ピッピッ」と音が鳴りますので、蛇口を閉めて水を止めてください。

●「ピッピッ」と音が鳴る前に水を止めると、「ピッピッピッ …」と 10 秒間警告音が鳴ります。

13 ページ「警告音に対する処置」

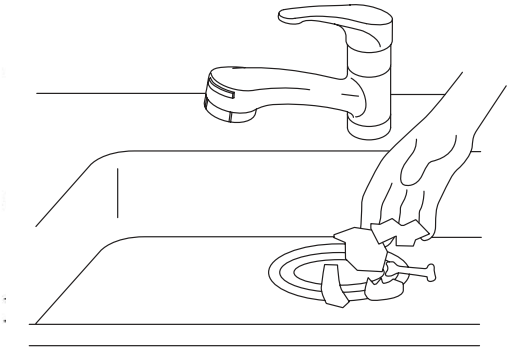
水を早く止めたり、水の量が十分でない場合は、配管内に生ごみが残り、配管詰まりの原因になります。

●フタスイッチを取りはずす場合は、フタスイッチの▲マークを投入口の▼マークに合わせるように左（反時計まわり）に回してからはずしてください。

運転のしかた

■ 自動給水タイプの場合（蛇口を開けなくても水が自動で供給されます）

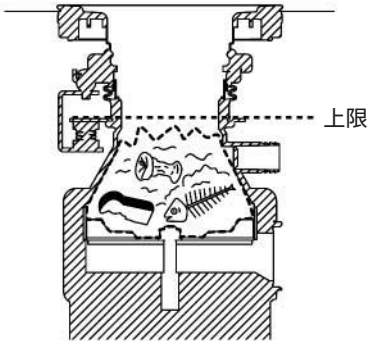
1 ディスポーザに生ごみを入れてください



●ディスポーザに投入してはいけないものがあります。投入物についてのご注意をよく読んでご使用ください。☞ 10 ページ

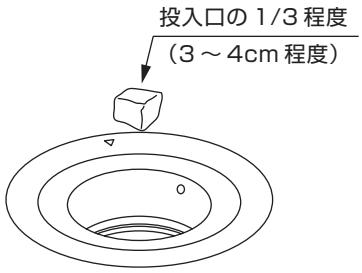
●同一ごみだけの投入は配管詰まりの原因になることがあります。何種類かのごみをまぜて粉砕するようにしてください。

投入量の目安



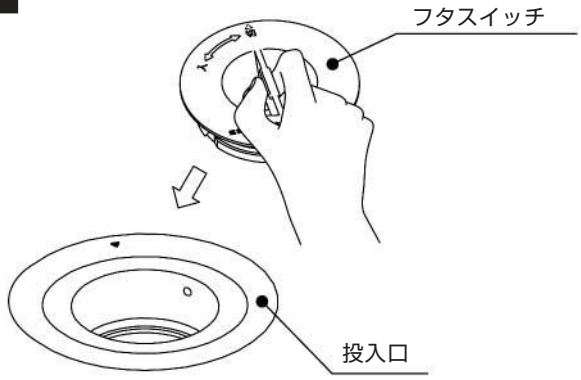
●図の上限を目安にして、生ごみを強く押し込まないでください。100 から 150 グラム程度を少しずつ何度かに分けて処理されることをお薦めします。

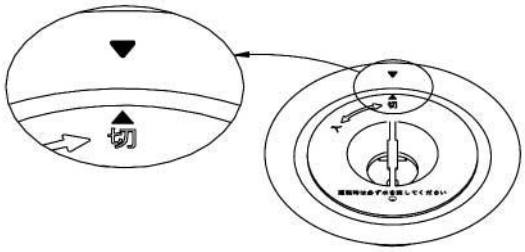
大きさの目安



●投入する生ごみの大きさは、投入口の 1/3（3 ～ 4cm）程度を目安にしてください。

2 投入口にフタスイッチを挿入してください

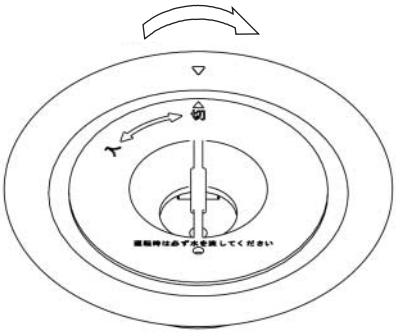




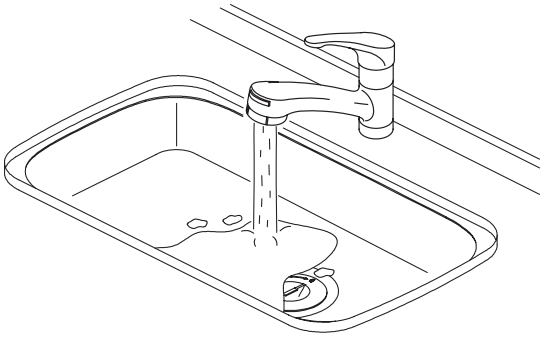
●投入口の▼マークとフタスイッチの▲マークを合わせて入れてください。

運転のしかた

3 フタスイッチを右（時計まわり）にまわして、「入」にしてください



4 「ピッ」と音が鳴り、蛇口から水が自動的に流れ、ディスポーザが運転を開始します

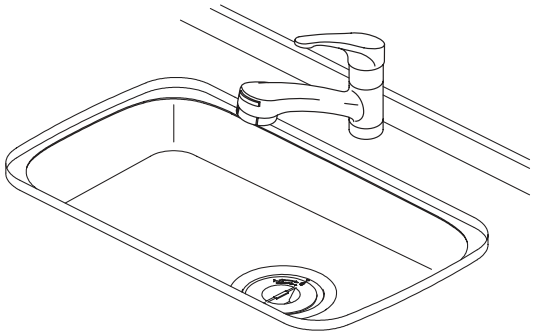


⚠ 注意

蛇口からの水がディスポーザの投入口に流れるように、蛇口の下に器やコップなどを置かないでください。

運転を強制終了させる時は ☞ 20 ページ

5 1分間で運転が終わります。（約50秒でディスポーザ運転が停まり、その後も10秒間蛇口から水が流れます。）水が止って「ピッ・ピッ」と音が2回鳴れば、終了です



⚠ 注意

ディスポーザの回転が完全に停止するまで、ディスポーザの中に手を入れないこと。
けがの原因になります。

●フタスイッチを取りはずす場合は、フタスイッチの▲マークを投入口の▼マークに合わせるように左（反時計まわり）に回してからはずしてください。

運転時の報知音について

■ 手動給水タイプ：水量センサー無しの場合

給水開始

蛇口を開けて、水を流します。

↓

運転開始　「ピッ」

フタスイッチを右にまわして運転を開始させると、「ピッ」と音が鳴ります。

↓ 約 50 秒後

運転終了

運転開始から約 50 秒後に運転が終了します。

↓ 約 10 秒後

給水停止　「ピッピッ」

運転終了から約 10 秒後に、お知らせ音が「ピッピッ」と鳴ったら、蛇口を閉じて水を止めてください。

※運転中にフタスイッチを左にまわして、運転を強制的に終了させると、「ピッピッピッ…（5 秒間）」と音が鳴ります。
（強制終了後も 10 秒間水を流してください。そのまま放置しますと、排水不良の原因になります。）

運転時の報知音について

■ 手動給水タイプ：水量センサー付きの場合

給水開始

蛇口を開けて、水を流します。

↓

運転開始　「ピッ」

フタスイッチを右にまわして運転を開始させると、「ピッ」と音が鳴ります。

給水量検知

運転開始後の給水量（毎分８リットル）を満たしていると、粉砕を開始します。

- 運転開始時の給水量（毎分８リットル）に満たないと、「ピッピッピッ ...」と10秒間警告音が鳴り、粉砕を開始しません。

☞ 13 ページ「警告音に対する処置」

- 運転中に給水量（毎分８リットル）を下回ると粉砕を停止し、「ピッピッピッ ...」と10秒間警告音が鳴ります。

☞ 13 ページ「警告音に対する処置」

↓ 約50秒後

運転終了

運転開始から約50秒後に運転が終了します。

↓ 約10秒後

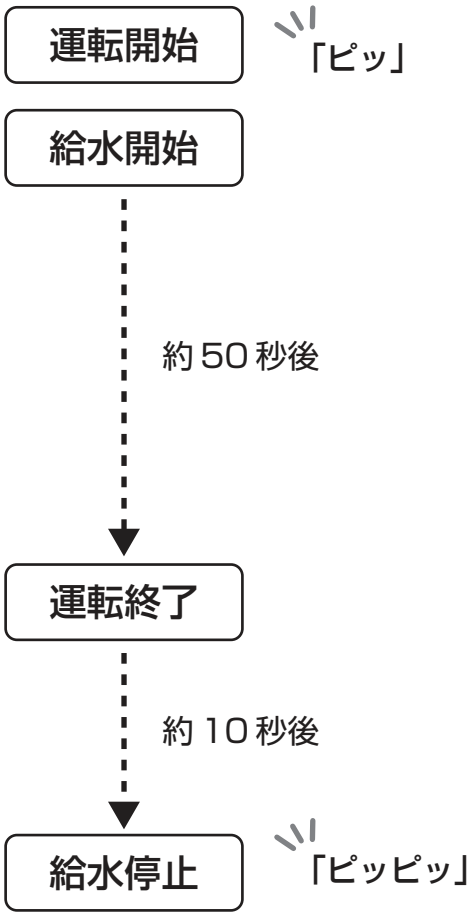
給水停止　「ピッピッ」

運転終了から約10秒後に、お知らせ音が「ピッピッ」と鳴ったら、蛇口を閉じて水を止めてください。

※運転中にフタスイッチを左にまわして、運転を強制的に終了させると、「ピッピッピッ…（5秒間）」と音が鳴ります。
（強制終了後も10秒間水を流してください。そのまま放置しますと、排水不良の原因になります。）

運転時の報知音について

■ 自動給水タイプの場合



フタスイッチを右にまわすと「ピッ」と音が鳴り、自動で給水が始まります。
少し遅れてディスポーザが運転を開始します。
ディスポーザは、運転・停止をくり返す断続運転を行います。

運転開始から約 50 秒後に運転が終了します。

運転終了から約 10 秒後に、お知らせ音が「ピッピッ」と 2 回鳴って、自動で給水が停止します。

●警告音について

何らかの理由により、蛇口からの水量が不足した場合は、「ピッピッピッ .....」と断続音が 10 秒間続き、自動的に運転が終了します。

蛇口のレバーを操作して、蛇口から正常に水が出るかどうか、確認してください。また、シンク内部の止水栓が開いているか確認してください。

これらを確認しても問題が解決しない場合は、販売店にご相談ください。

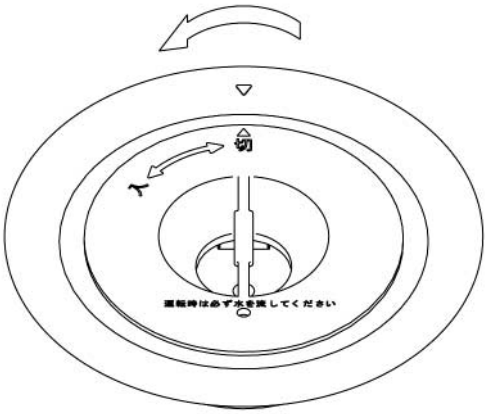
運転を強制的に終了させる

次のようなときには運転を途中で止めてください。

①異物を誤って落としたとき

②粉砕中に異音がするとき

1 フタスイッチを左（反時計まわり）に回して、「切」にしてください
「ピッピッピッ…」と断続音が 5 秒間鳴ります。



2 粉砕室の中に異物がある場合は、取りだしてください。

☞ 21 ページ

⚠ 注意

異物の取り出し作業は、回転が完全に停止したことを確認してから行うこと。
けがの原因になります。
ディスポーザの回転が完全に停止するまで、約３秒程度かかります。

⚠ 注意

異物の取り出し作業は、必ず電源プラグを抜いてから行うこと。
けがの原因になります。

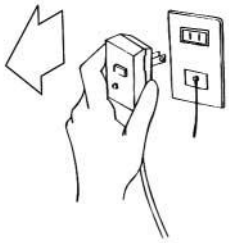
⚠ 注意

異物を取り出した後は、必ず再度運転すること。
そのままにしておくと、排水不良の原因になります。

異物の取り出しかた

ディスポーザの粉砕室の中に異物がある場合や、誤って異物を落としてしまった場合は、下記の要領で取り除いてください。

1

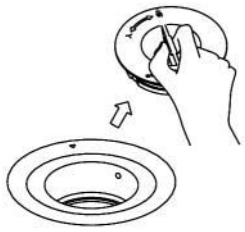


ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

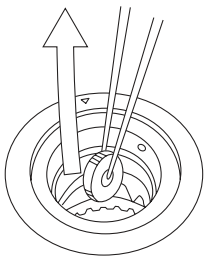
異物の取り出し作業は、電源プラグをコンセントから抜いてから行うこと。けがの原因になります。

2



フタスイッチを投入口よりはずしてください。

3

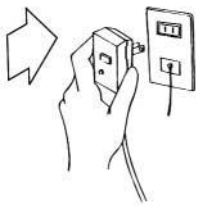


内部の回転板が停止していることを確認してください。その後、かみ込んだ異物を菜箸などで取り除いてください。

⚠ 注意

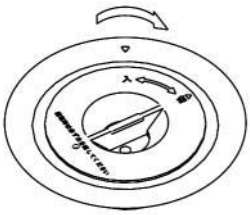
内部に手を入れる場合は、厚手のゴム手袋などを必ず着用してください。けがの原因になります。

4



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

5



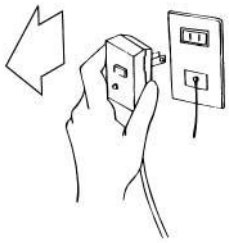
再度運転を行ってください。このとき、ディスポーザが正常に動作していることを確認してください。

☞ **手動給水タイプの運転 11** ページ～**14** ページ
☞ **自動給水タイプの運転 15** ページ～**16** ページ

かみ込み解除のしかた

粉砕中にごみやスプーンなどの異物がかみ込んだ場合、過負荷保護装置が作動し、ディスポーザは停止し、ディスポーザ底面のリセットボタン（赤）が飛び出した状態になります。下記の要領で復帰させてください。

1

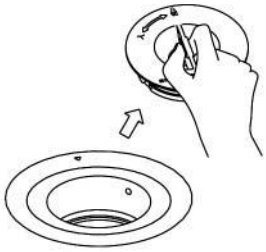


ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

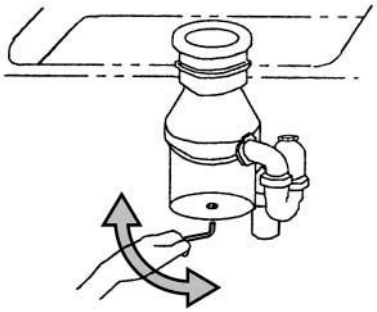
かみ込み解除の操作は、必ず電源プラグを抜いてから行うこと。けがの原因になります。

2



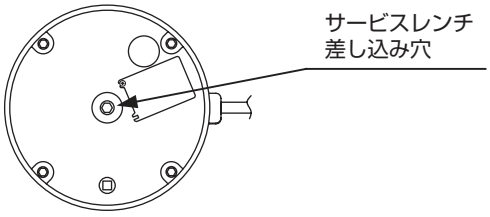
フタスイッチを投入口よりはずしてください。

3



左右に数回軽くなるまでまわす。
（まわすことによって、部品のゆるみ・はずれ等はありません）

付属のサービスレンチをディスポーザ底面のサービスレンチ差し込み穴に差し込み、左右に数回軽くなるまでまわしてください。



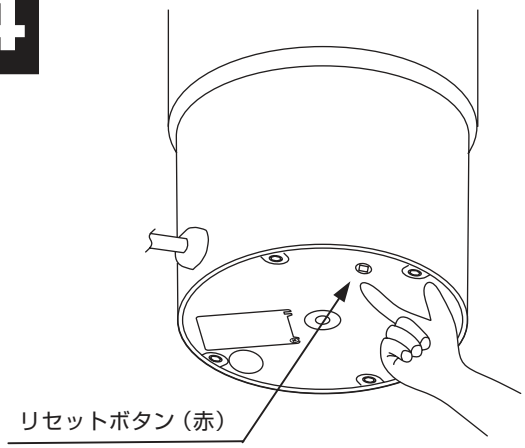
〈ディスポーザ底面〉

⚠ 注意

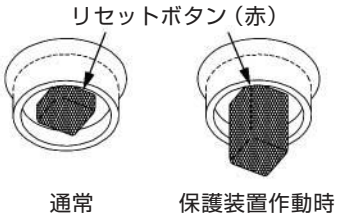
かみ込み解除後は、必ずサービスレンチを取り外すこと。けがの原因になります。

かみ込み解除のしかた

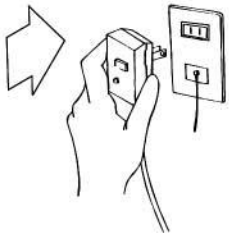
4



ディスポーザ内部の異物を取り除いて ☞ 21 ページ
過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。
※確実に押し込み、通常状態に戻ったことを確認してください。

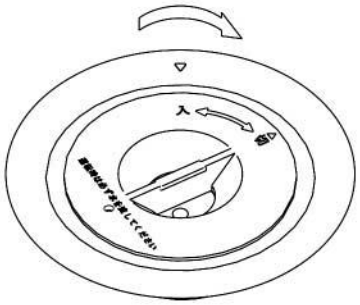


5



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

6



水を流して再度運転を行ってください。
このとき、ディスポーザが正常に動作していることを確認してください。

☞ 手動給水タイプの運転 11 ページ～14 ページ
☞ 自動給水タイプの運転 15 ページ～16 ページ

⚠ 注意

必ず再度運転を行うこと。
そのままにしておくと、排水不良の原因になります。

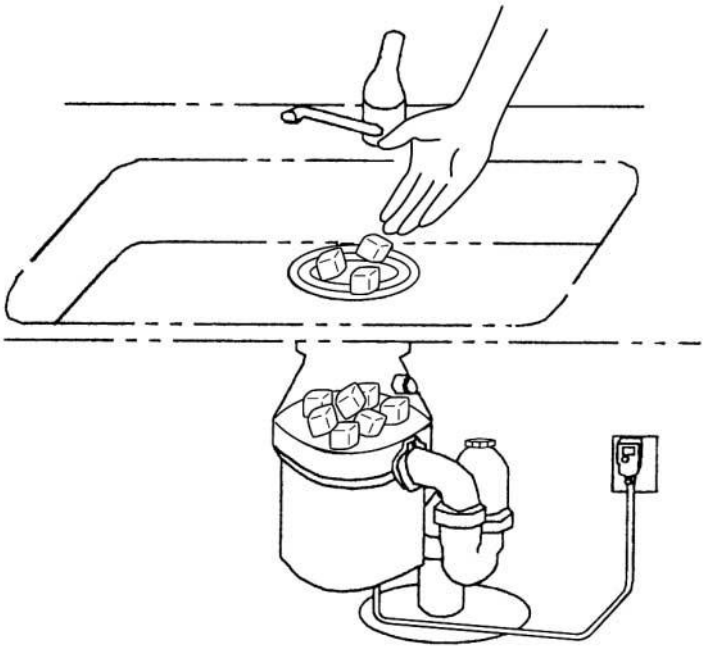
ディスポーザ本体内部のお手入れ ①

次のようなときにお手入れを行ってください。

①生魚などにおいの強いものを処理した後
②粉砕室からのにおいが気になるとき
③長期間ご不在になる前

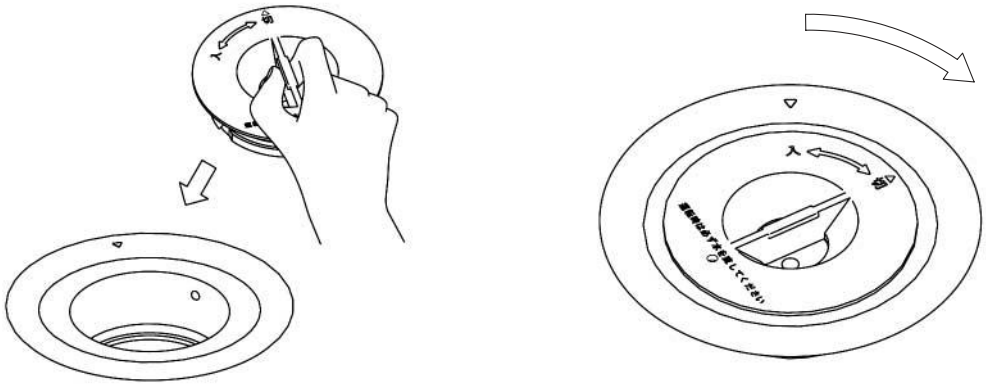
1 氷（キューブアイスなど）を数個程度投入してください。

※氷と一緒に台所用中性洗剤・レモン汁・食酢などを投入すると、悪臭防止に効果があります。



2 運転を行ってください。

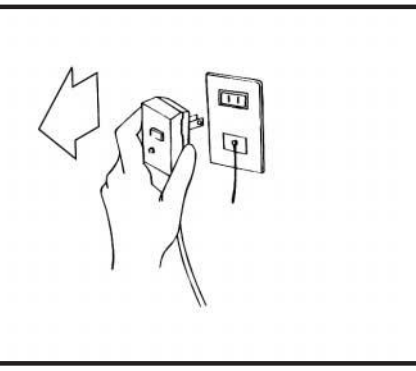
☞ 手動給水タイプの運転 11 ページ～14 ページ
☞ 自動給水タイプの運転 15 ページ～16 ページ



ディスポーザ本体内部のお手入れ ②

前ページの「ディスポーザ本体内部のお手入れ①」を行っても、におい・汚れが気になる場合は、下記の要領で内部をおそうじしてください。

1

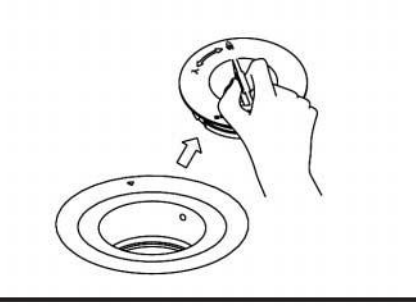


ディスポーザの電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

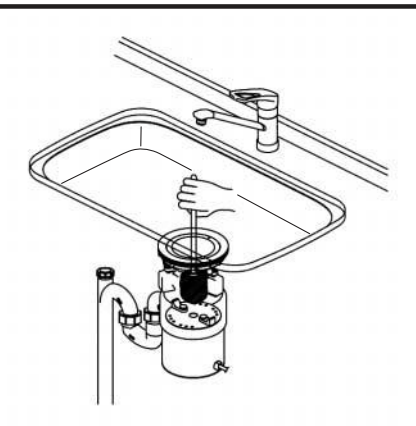
内部のおそうじは必ず電源プラグを抜いてから行うこと。けがの原因になります。

2



フタスイッチを投入口よりはずしてください。

3

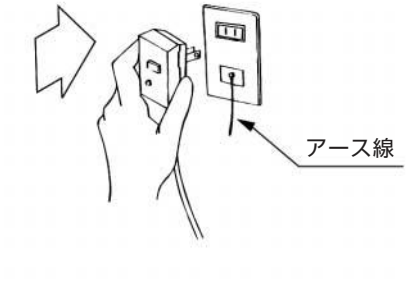


柄のついたブラシ等に台所用中性洗剤をつけてディスポーザ内部をこすり洗いしてください。

⚠ 注意

内部に手を入れる場合は、厚手のゴム手袋などを必ず着用すること。けがの原因になります。

4



ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込み、水を流して、運転を行ってください。

☞ 手動給水タイプの運転 11 ページ～14 ページ
☞ 自動給水タイプの運転 15 ページ～16 ページ

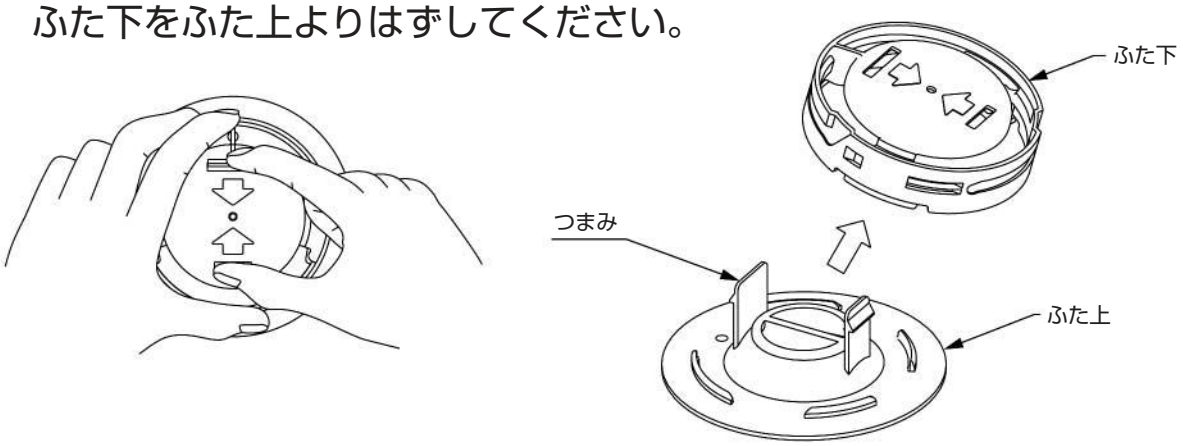
⚠ 注意

アース線が確実に接続されていることを確認してください。

フタスイッチのお手入れ

フタスイッチの汚れが気になる場合は、下記の要領でお手入れを行ってください。

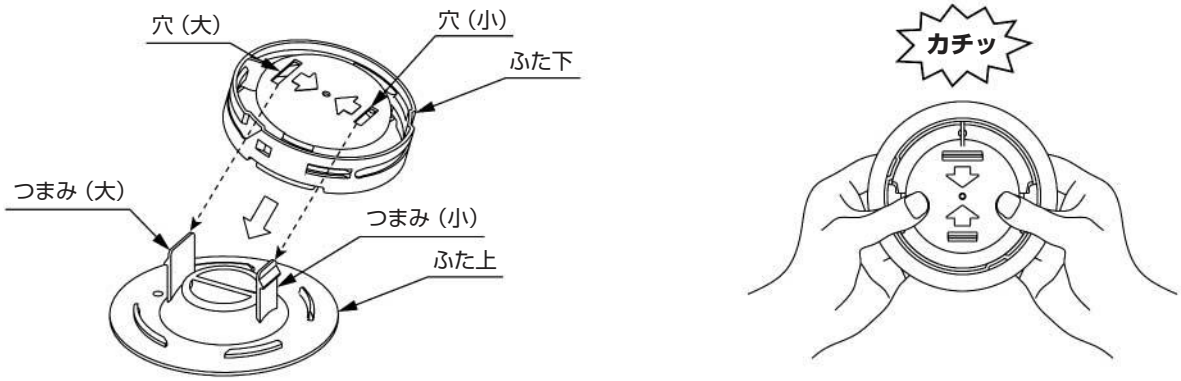
1 フタスイッチを裏向きにして、下図のとおりつまみを内側に寄せて、ふた下をふた上よりはずしてください。



2 汚れを歯ブラシなどでこすりながら、水洗いしてください。

3 ふた上のつまみをふた下の穴に入れ、カチッと音がするまで差し込んでください。

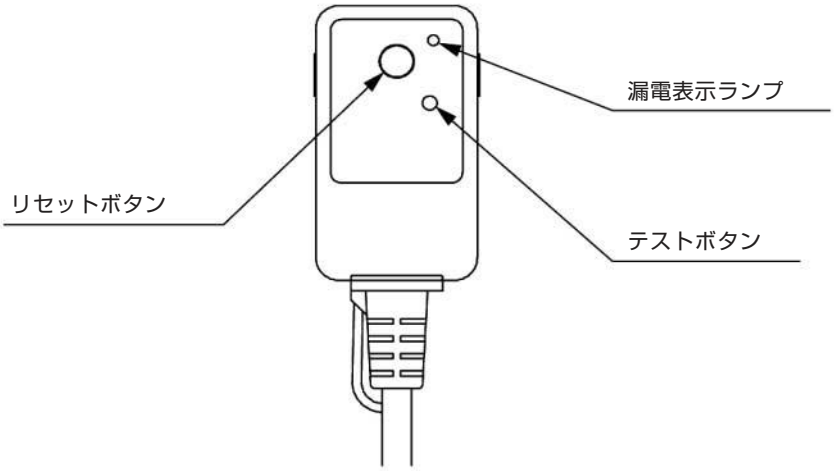
※つまみの大きさは大小がありますので、ご確認のうえ、差し込んでください。



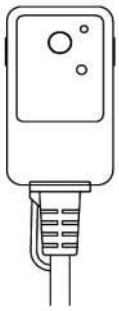
定期的な点検について

電源プラグの点検方法

電源プラグの作動点検を年に２～３回程度、つぎの手順で行ってください。



1 漏電表示ランプが消灯していることを確認してください。



2 コンセントに差し込んだまま、テストボタンを押してください。漏電表示ランプが点灯すれば正常です。

※ボタンを押しても点灯しないときは修理を依頼してください。

3 リセットボタンを押してください。
漏電表示ランプが消灯すれば正常です。

※ボタンを押しても消灯しないときは修理を依頼してください。

故障かな？! と思ったら

修理を依頼される前に、まずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。それでも直らないときは、販売店へご相談ください。

手動給水タイプ：水量センサー無しの場合

症　状	チェック内容	処　置
ディスポーザが動かない。	異物をかみ込んで、過負荷保護装置が作動していませんか?	異物を取り除いて、過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。 ☞ 22 ページ～ 23 ページ
	停電していませんか?	停電解除までお待ちください。
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
	電源プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか?	電源プラグのリセットボタンを押してください。 ☞ 27 ページ
運転中、音や振動が大きい。	スプーン、つまようじ、ねじ、プラスチック片などの異物が混入していませんか?	異物を取り除いてください。 ☞ 21 ページ
生ごみが粉砕されずに残る。	粉砕できない生ごみまたは粉砕に時間のかかる生ごみが投入されていませんか?	もう一度運転しても、ディスポーザ内に生ごみが残る場合は取り除いてください。 ☞ 21 ページ
投入口から水があふれる。	ディスポーザ内に生ごみがたまっていませんか?（※1）	粉砕運転を行い、生ごみを処理してください。 ☞ 11 ページ～ 14 ページ

※1　ディスポーザ内に生ゴミが溜まっていない場合は、排水管部（排水トラップ）が詰まっていると考えられます。まず市販のラバーカップをディスポーザの投入口にあてがい10回位ラバーカップを動かし、詰まりを解除してください。
それでも直らない場合は、販売店にご相談ください。

故障かな？! と思ったら

修理を依頼される前に、まずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。それでも直らないときは、販売店へご相談ください。

手動給水タイプ：水量センサー付きの場合

症　状	チェック内容	処　置
ディスポーザが動かない。	異物をかみ込んで、過負荷保護装置が作動していませんか?	異物を取り除いて、過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。 ☞ 22 ページ～ 23 ページ
	停電していませんか?	停電解除までお待ちください。
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
	電源プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか?	電源プラグのリセットボタンを押してください。 ☞ 27 ページ
「ピッピッピッ ...」と警告音が鳴り、ディスポーザが動かない。	水量センサーコネクタ（※1）がはずれていませんか?	水量センサーコネクタを接続してください。
	蛇口の開度が小さくありませんか?	蛇口の開度を大きくして、給水量を毎分8リットル以上にしてください。
	給湯側で水を流していませんか?	給湯側では水量センサーが作動しないため、水側で水を流してください。
	他の場所で水を多量に使用していませんか?	他の場所での多量の水の使用が終了するまでお待ちください。
	給水管の止水栓が閉まっていませんか?	給水管の止水栓を開けてください。
	断水していませんか?	断水解除までお待ちください。
運転中、音や振動が大きい。	スプーン、つまようじ、ねじ、プラスチック片などの異物が混入していませんか?	異物を取り除いてください。 ☞ 21 ページ
生ごみが粉砕されずに残る。	粉砕できない生ごみまたは粉砕に時間のかかる生ごみが投入されていませんか?	もう一度運転しても、ディスポーザ内に生ごみが残る場合は取り除いてください。 ☞ 21 ページ
投入口から水があふれる。	ディスポーザ内に生ごみがたまっていませんか?（※2）	粉砕運転を行い、生ごみを処理してください。 ☞ 11 ページ～ 14 ページ

※1　水量センサーコネクタは、水量センサーにあります。水量センサーの位置は8ページをご参照願います。

※2　ディスポーザ内に生ゴミが溜まっていない場合は、排水管部（排水トラップ）が詰まっていると考えられます。まず市販のラバーカップをディスポーザの投入口にあてがい10回位ラバーカップを動かし、詰まりを解除してください。
それでも直らない場合は、販売店にご相談ください。

故障かな？! と思ったら

修理を依頼される前に、まずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。それでも直らないときは、販売店へご相談ください。

自動給水タイプの場合

症　状	チェック内容	処　置
ディスポーザが動かない。	異物をかみ込んで、過負荷保護装置が作動していませんか?	異物を取り除いて、過負荷保護装置のリセットボタンを押してください。 ☞ 22 ページ～ 23 ページ
	停電していませんか?	停電解除までお待ちください。
	電源プラグが抜けていませんか?	電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。
	電源プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか?	電源プラグのリセットボタンを押してください。 ☞ 27 ページ
「ピッピッピッ ...」と警告音が鳴り、ディスポーザが動かない。	水量センサーコネクタ（※1）がはずれていませんか?	水量センサーコネクタを接続してください。
	他の場所で水を多量に使用していませんか?	他の場所での多量の水の使用が終了するまでお待ちください。
	給水管の止水栓が閉まっていませんか?	給水管の止水栓を開けてください。
	断水していませんか?	断水解除までお待ちください。
運転中、音や振動が大きい。	スプーン、つまようじ、ねじ、プラスチック片などの異物が混入していませんか?	異物を取り除いてください。 ☞ 21 ページ
生ごみが粉砕されずに残る。	粉砕できない生ごみまたは粉砕に時間のかかる生ごみが投入されていませんか?	もう一度運転しても、ディスポーザ内に生ごみが残る場合は取り除いてください。 ☞ 21 ページ
投入口から水があふれる。	ディスポーザ内に生ごみがたまっていませんか?（※2）	粉砕運転を行い、生ごみを処理してください。 ☞ 15 ページ～ 16 ページ

※1　水量センサーコネクタは、水量センサーにあります。水量センサーの位置は8ページをご参照願います。

※2　ディスポーザ内に生ゴミが溜まっていない場合は、排水管部（排水トラップ）が詰まっていると考えられます。まず市販のラバーカップをディスポーザの投入口にあてがい10回位ラバーカップを動かし、詰まりを解除してください。
それでも直らない場合は、販売店にご相談ください。

仕様

仕　様

項　目		内　容
型式		AC115
設置場所		屋内設置
使用周囲温度		0～40℃
使用周囲湿度		90%RH 以下
推奨水量		8L/min 以上
使用電源		AC100V 15A 50/60Hz
		アース端子付き専用コンセントをキャビネット内に設置すること
1ヵ月当たりの標準消費電力		0,155KWh（1日2回使用のとき）
1ヵ月当たりの標準使用水量		0.6m^3（1日2回使用のとき）
粉砕部	シンク接続口径	180mm
	投入口径	100mm
	粉砕室容積	1.3L
	粉砕方式	ハンマーミル方式
	モーター形式	コンデンサ始動型単相4極誘導電動機
	定格電圧	100V
	定格周波数	50/60Hz
	定格消費電力	300/285W
コントローラ	電源コード長	1.0m
	アース	D種接地工事
	アースコード長	0.2m
排水トラップ部	排水接続	VP40 または VP50
	封水深さ	65mm
安全装置	漏電保護装置	漏電遮断プラグ
	過電流保護装置	過負荷保護装置（手動復帰型）
	投入口開閉検知装置	フタスイッチの磁力検出スイッチによる
付属品		サービスレンチ、目皿、取扱説明書
製品質量		8.8kg

「取扱方法やディスポーザーに関するお問合せ」

株式会社 日本エスコ

☎ **0120-101-539**

公式WEBサイト：www.esco-j.com